

FDH  
119



## 消火器のお話し

これから冬に向かい空気が乾燥し火災の起こりやすい気象状況となってきます。

しかし、一人ひとりが防火の重要性を自覚し、日常生活で防火を実践することで、火災による死傷事故や財産の損失を防ぐことができます。

今回は、いざというときのための“消火器のお話”です。

### 適応する火災の種類は

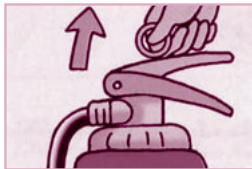
消火器には、適応火災を示す色マークがついています。それぞれの火災に適応した消火器を設置してください。(家庭用消火器には適応火災が図示されています)

〈白色〉  
普通火災用  
(A火災)

〈黄色〉  
油火災用  
(B火災)

〈青色〉  
電気火災用  
(C火災)

### 消火器の使い方



①安全ピンに指をかけ上に引き抜く。



②ホースをはずして火元に向ける。



③レバーを強く握って噴射する。

### 古くなった消火器は

古くなって錆びついた消火器や、落とすなどして変形した消火器を使っていて、容器が破裂して死亡事故に至った例があります。ご家庭などにある消火器をもう一度点検し、危険だと思われる消火器は販売業者に依頼して取り替えましょう。たとえ、訓練でも決して使わないでください。

### トラブルに注意

不適切な点検、高額な請求などで消火器を巡るトラブルが全国的に多発しています。信頼ある業者に点検を依頼し、あいまいな態度や安易に契約書に押印・サインすることは避け、トラブルに巻き込まれないようにしましょう。

また、一般家庭には消火器設置の法律上の義務付けはありませんが、大切な家族や財産を守るために、消火器をご家庭に設置する場合は、言葉巧みに高額な請求をする訪問業者を避け、信頼ある販売店でお求めください。

## 危険物移動タンク貯蔵所(タンクローリー)路上検査実施

秋の火災予防週間中の11月14日、大宮警察署、常陸太田県税事務所、消防本部の3者で、富岡地内の国道上において危険物移動タンク貯蔵所(タンクローリー)の一斉検査を実施しました。

10台を検査したところ1台に消防法上の不備がみられ指導しました。

